

令和 2 年度 事業報告書

I. 社会福祉事業

1.	特別養護老人ホーム ひまわり荘 ひまわり荘短期入所介護事業所 ひまわり荘通所介護事業所 太陽の里いわき居宅介護支援事業所	...	1	～	16
2.	ケアハウス 日之出荘	...	17	～	21
3.	太陽の里いわき訪問介護事業所	...	22	～	24
4.	介護老人保健施設 二ツ箭荘 居宅介護支援事業所 ふたつや	...	25	～	30
5.	児童養護施設 いわき育英舎	...	31	～	35
6.	本部	...	36		

II. 公益事業

1.	医療センター 片寄診療所	...	37	～	40
----	--------------	-----	----	---	----

令和2年度 特別養護老人ホームひまわり荘事業報告書

介護保険法に従い、利用者が有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援し、利用者にとって自立支援のための最適なサービスを他職種協議で総合的に立案し、提供して参りました。

また、新型コロナウイルス感染予防を最重要課題として全体で取り組み、荘内の活動に伴う「3密の回避」や「飛沫感染防止」「消毒」等を実施しました。

1. 定員の確保

新型コロナウイルス感染状況等を勘察し、新規入所者においては入所前にPCR検査を実施しました。また、行政からの措置入所の要請が3名、特例入所が1名あり、すみやかに入所に繋げております。

短期入所生活介護事業所においては新型コロナウイルス感染防止対策強化の為、利用の受け入れについて一部制限（新規利用者の制限や帰省者等との接触がある場合等）を行った為、利用率の低下が見られました。

2. 職員の士気高揚

定期的な職場内研修は、新型コロナウイルス感染防止の為オンライン研修等を取り入れ各自技術の修得、知識の向上を図りスキルアップに努めました。

3. 事務処理の充実

介護報酬請求等の事務処理について、遅延や漏れなどはなく正確に請求をすることができました。

4. 処遇の充実

利用者の意向と各専門職の意見を反映した施設サービス計画を作成し、計画書に沿った援助の実施に努めました。また、身体状況等の変化が見られた際には、必要な援助が速やかに行なえるように計画書の見直しを随時行ない、適切な援助が行なえるように努めました。

行事については、新型コロナウイルス感染防止の為外出を自粛し、少人数での荘外の散歩や中庭を利用してのお茶会等を実施する機会を設け気分転換を図りました。

利用者の身体状況の変化や事故への対応等細かな情報も家族へ伝える事で、信頼関係を構築出来るよう取り組む事が出来ました。

衣類や靴など古くなっている物の処分や補充等、年2回の衣替えの時期に合わせ居室担当者が居室内の整理整頓を行いました。

面会については、昨年より面会禁止としていましたが、令和2年7月1日より一部緩和し、県内在住のご家族様のみ感染対策をしながら面会を実施しました。令和3年1月1日以降はインフルエンザ流行時期も踏まえ、面会禁止と致しました。ご家族様へのご協力のお願いと、不安を解消するため事前に書面での説明を行いご理解していただけるよう努めました。

5. 看取り介護について

ターミナルケアの充実を図り、他職種連携のもとご家族の意向を尊重し対応する事ができました。内部研修においても看取りについての対応を学んだことによってご家族から施設での生活やケアに対して感謝の言葉を多くいただきました。終末期を向かえた利用者に対しては、ほぼ100%看取り介護加算を算定する事ができました。

6. 事故防止・苦情対策の充実

怪我などの事故が発生した際には、迅速に対応しました。また、事後の対策では、事故報告書の作成と事故対策委員会を速やかに開催し事故原因等を究明し、再発防止

に努め職員へ周知徹底を図りました。

事故の発生時には、利用者や家族に不安を与えないように誠意をもって対応致しました。

身だしなみや言葉遣い、態度等を再度見直し、介護職員として利用者に安心感、信頼感を持っていただけるように接遇委員会が中心となり、全職員に説明してサービスの質の向上に努めました。

7. その他

新型コロナウイルス感染防止対策として、食堂での飛沫感染防止のためのアクリル板設置や食事介助時の感染予防の為にめがねの着用、密を避けるための休憩室の時間差利用、職員体調管理の1日2回の検温、手指消毒の徹底、送迎車内の消毒等に取り組みました。

利用状況（特別養護老人ホームひまわり荘）

令和2年度	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
入所者数	56.7	56.0	56.6	58.2	59.0	58.0	58.4	59.0	58.5	57.6	56.7	58.2	57.7	58.4	△0.7
稼働率(%)	103.1	101.8	102.9	105.7	107.3	105.5	106.1	107.3	106.4	104.8	103.1	105.8	104.9	106.0	△1.1
平均介護度	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	0
入所数	3	3	3	2	0	0	2	0	0	2	2	2	19	22	△3
退所数	3	3	2	0	1	0	1	0	2	3	1	0	16	26	△10
入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0
延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29	35	18	17

利用状況（ひまわり荘短期入所生活介護事業所）

令和2年度	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	△2
要介護1	4	4	4	2	2	2	3	3	3	3	4	7	41	47	△6
要介護2	5	6	10	10	11	11	11	11	7	5	5	5	97	136	△39
要介護3	11	9	10	10	12	13	15	12	11	12	9	10	134	141	△7
要介護4	7	8	8	9	7	7	7	9	9	10	8	9	98	122	△24
要介護5	3	3	2	2	2	2	2	5	4	3	2	3	33	45	△12
計	30	30	34	33	34	35	38	40	34	33	28	34	403	493	△90
平均介護度	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.3	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.2	0
延人数	296	348	344	370	415	387	401	446	442	439	366	306	4,560	5,239	△679
平均利用者数	9.9	11.2	11.5	11.9	13.4	12.9	12.9	14.9	14.2	11.8	10.9	11.1	12.2	14.2	△2
利用率(%)	65.8	74.8	76.4	79.6	89.2	86.0	86.2	99.1	94.4	78.7	72.9	74.2	81.4	95.5	△14.1

令和2年度 ひまわり荘行事実績

実施日	行事名	内容	場所	参加人数
4月2日	荘内お花見	桜の枝を準備しお花見弁当を食べる	食堂	60名
9月18日	敬老会	紙芝居・カラオケ	天狗広場	30名
10月3日	お茶会	どら焼き、お茶を楽しむ	食堂	56名

※ 新型コロナウイルス感染症の予防により活動内容に制限があったため内容等を見直しました。

令和2年度 内部研修実績表 (ひまわり荘)

日 程		参加者数	内 容
5月21日	新型コロナウイルス感染拡大の為荘内での研修を中止し資料を各自確認する。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症について 2. 褥瘡について 3. スピーチロックについて
7月7日	18:00~19:00	24名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事故事例について 2. 看取り、緊急時の対応等 3. ホスピタリティマナーとは 4. 夏の食中毒について
10月9日	18:00~19:00	21名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 褥瘡、看取りについて 2. 排泄時の対応マナー
12月22日	新型コロナウイルス感染拡大の為荘内での研修を中止し資料を各自確認する。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症について 2. 身体拘束について
2月8日	新型コロナウイルス感染拡大の為荘内での研修を中止し資料を各自確認する。		<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護のリスクマネジメント 2. 接遇について 3. 看取り介護

令和2年度 外部研修実績表（ひまわり荘）

	職 種		内 容	会 場
7月3日（金）	事務長 介護副主任		介護支援ロボットの無料貸し出しに関する説明会	郡山市 ふくしま医療機器開発支援センター
8月1日～8月31日	施設職員		令和2年度医務担当職員研修会 高齢者施設における感染対策「新型コロナウイルス感染症について」	動画配信
8月26日（水）	事務長		BCP 策定セミナー	動画配信
12月11日（金）	主任生活相談員		令和2年度安全運転管理者等講習会	いわき新舞子ハイツ
令和3年2月1日～2月28日	施設職員		令和2年度災害リスク対策研修	動画配信
3月31日（水）	事務長		施設長会議（臨時）開催について	いわき市文化センター1F 大講義室

※ 厚生労働省の動画配信

「介護老人福祉施設のための そうだったのか！感染対策」について
 「介護老人福祉施設のための そうだったのか！感染対策」（その2）について
 介護サービス提供の場で行う感染対策
 標準予防策と感染経路予防策
 感染拡大防止の為に職員の健康管理
 生活の場における高齢者の健康管理

令和2年度 ひまわり荘通所介護事業所事業報告書

介護保険法に従い、利用者が有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように生活機能の維持、向上を目指し、社会的孤立感や家族の介護負担の軽減を目的として支援しました。休日の振替利用をご家族へ積極的に呼びかけると共に、新型コロナウイルス感染症に対する不安や疑問など話を聞くことで本人やご家族とのコミュニケーションを十分に図ることができ、健康状態の把握や信頼関係を築くことができました。また、定期的な居宅介護支援事業所への訪問等は、感染症予防の観点から電話連絡等に対応し連携を密にすることができましたが、入院や入所で利用中止になった方の代替りの利用者数の獲得が困難でした。

1. 定員の確保

居宅介護支援事業所への訪問は、新型コロナウイルス感染症の予防等からなかなか難しく電話連絡等での情報提供が中心となりました。事前に訪問の連絡を入れ伺うことができた居宅介護支援事業所の数も少なかったこともあり体験利用、新規利用者の獲得は思うようにいきませんでした。その中でも、利用者へは祝日の振替利用や短期入所利用等で定員の空きが予め分かる場合の追加利用の声掛けを継続的に行ないました。新型コロナウイルス感染症による感染予防の対応、感染予防のための環境整備を職員一丸となり取り組み、新型コロナウイルス感染症による利用控えが無いよう安心して通所を利用していただけるよう取り組みました。

2. 職員の士気高揚について

施設内及び外部研修（オンライン）では、新型コロナウイルス感染症に対する注意喚起、対応等について学びました。利用者及び家族に対し少しでも不安軽減に繋がるように説明し対応しました。また、介護福祉士を受験する職員には優先的に休みなどの調整等を行い支援しました。

3. 事務処理

業務の見直し、改善に取り組み職員全体で情報を共有しソフトを使用した管理ができるように効率化を進めました。

4. 地域交流

今年度は、新型コロナウイルス感染症により外部からのボランティア等の受入も困難でした。

5. 利用者処遇

利用者の方々のニーズを可能な限り取り入れながら通所介護計画書を作成し、実践して参りました。家族の新型コロナウイルス感染症に対する不安など相談に応じました。また、担当ケアマネージャーとの情報を共有することで、利用者の身体的・精神的状態の把握に努めました。事業所としては、検温、手指のアルコール消毒、マスクの着用、食事環境を整える観点から飛沫防止の衝立の設置、さらに送迎車内のアルコールによる消毒、通所サービスのお部屋のオゾン消毒など利用者や家族が安心して通えるように感染防止に気を配りました。

6. 生きがい対策

季節に合わせた各種行事や娯楽活動の実施はできる範囲で対応しました。新型コロナウイルス感染症対策で、多人数で集まり、大きな声を出したりしないなどいろいろな場面での制約があるなか、少人数での対応をとる事でより充実したものにし、心身の活性化の支援に努めました。特にマスクを着用していることでの意思疎通の困難さを防ぐために個別で対応できたことで孤立感を防ぐことができました。

7. 各種業務のサービス向上

お迎え時に、検温等で体調管理をして状態把握をしました。さらに、家族、各居宅介護支援事業所と連携を図ることで新型コロナウイルス感染症に対する不安などの軽減に努めました。お送りの時に利用状況を報告する事で、本人の状態をご家族と共有することで体調不良や異常の早期発見に努めました。入浴サービスは、残存機能の活用を目的に自分で出来る事は行って頂き、また必要に応じて介助することで日常生活動作の維持、向上に繋げました。

食事サービスは季節を感じられるような献立で、利用者にとって満足できる内容でした。また、きざみ食の方のおやつは、自力でも摂取しやすい形のものに変更するなど利用者の方々の接種状況、身体状況にあったものを提供し、楽しみながら食べていただけるように努めました。

休息については密にならないように配置を工夫するなどして、利用者に休んでいただきました。レクリエーションは、新型コロナウイルス感染症の予防そして行政の指導のもと、内容を見直し対応しました。その中でも生きがいや心の健康に繋がるように工夫しました。機能訓練（リハビリテーション）は、各利用者の方の身体状況や生活環境に必要な機能訓練を実施し、個別に対応することで感染予防に努めました。充実したリハビリ提供を心掛け、身体機能の維持向上を図りました。日常における相談の他、新型コロナウイルス感染症に係る相談も多く、看護師が中心となって対応をしました。感染症の予防等に重点を置き、特養と連携を図りながら安心して利用できるより良いサービスの提供に努めました。

8. 環境整備

利用者の飛沫感染を防止するうえで、席の配置、衝立の設置、手指のアルコール消毒、マスクの着用など安心して利用できる環境を整えました。また、見守りが必要な利用者はテーブルの位置などを変え、安全性を確保しながら感染予防できる環境を提供しました。また、営業時間の終わりには、オゾン発生器で室内を消毒し予防等に配慮した環境を作りました。

9. 家族との交流

送迎時の対応で家族との連携を図りました。また、どんな些細なことでも家族の不安軽減のために電話対応し安心してサービスを利用してもらえるように努めました。

10. 秘密保持

契約時に説明をし、個人情報使用同意書を取り交わし、利用者のニーズに応えるべく情報交換を行いサービスの質の向上に努めました。サービスを提供するにあたり知り得た情報は第三者に漏らすことなく守秘義務を全職員に徹底しました。

11. 緊急時対応

緊急時の対応は、利用者ごとにご家族や主治医の電話連絡先を書類に記載し定期的に見直すことでその情報を職員全体で共有し迅速かつ適切に対応できる様に工夫して取り組みました。

12. 苦情相談の対応

利用者の相談事や悩みに耳を傾け、利用者の方々に適切かつ丁寧に対応し精神の安定が図れるように努めました。業務改善委員会もサービスの質の向上、要望等の把握など本来の目的である活動ができました。また、サービス提供時の事故等による苦情も、本人及びご家族の立場に立ち、迅速かつ丁寧で適切な対応を行い、通所サービスを安心して利用できる環境を整えました。

13. その他

ウォーターペットやエアーマッサージ器ドクターメドマー、電動サイクルマシンエスカルゴのリラクゼーションや運動機器は、利用者の方々から大変好評を頂いており、機器の清潔に努め安心して利用でき、利用者の心身の活性化を図れるように有効な備品として活用しました。

利用状況（ひまわり荘通所介護事業所）

<一般>	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	△ 14
支援2	24	22	19	16	21	14	18	17	16	13	14	18	212	359	△ 147
要介護1	72	82	101	89	78	85	97	79	79	66	75	96	999	1,153	△ 154
要介護2	159	154	199	202	174	200	231	177	192	175	178	186	2,227	1,543	684
要介護3	78	79	97	81	73	83	84	70	88	76	78	94	981	1,070	△ 89
要介護4	114	95	112	99	63	59	70	51	54	51	54	59	881	1,043	△162
要介護5	22	20	19	19	24	25	29	36	33	27	24	22	300	340	△ 40
延人数計	469	452	547	506	433	466	529	430	462	408	423	475	5,600	5,522	78
利用者数(注1)	18.8	19.6	21.0	20.2	19.6	19.4	19.5	18.6	18.4	18.5	19.2	18.2	19.3	19.8	△ 0.5
利用率(%)	62.5	65.5	70.1	67.4	65.6	64.7	65.3	62.3	61.6	61.8	64.0	60.8	64.3	65.8	△1.5
新規利用者数	2	4	6	0	3	0	1	0	2	1	2	0	21	23	△2
利用中止者数	2	1	4	6	3	1	0	1	0	3	2	2	25	28	△3

注1:当該月の1日当たりの平均利用者数

令和2年度 ひまわり荘通所介護事業所 行事实績

実施日	行事名	内 容	行 先
4月13日～4月18日	誕生会(4月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
5月11日～5月16日	誕生会(5月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
6月15日～6月20日	誕生会(6月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
7月13日～7月18日	誕生会(7月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
8月3日～8月8日	通所の夏祭り	輪投げや金魚すくい等でのミニ夏祭り	デイルーム
8月19日～8月24日	誕生会(8月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
9月14日～9月19日	誕生会(9月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
10月12日～10月17日	誕生会(10月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
11月2日～11月7日	秋の大運動会	玉入れやパン食い競争などのミニ運動会	デイルーム
11月16日～11月21日	誕生会(11月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
12月21日～12月26日	クリスマス会	職員の楽器演奏やゲームで楽しむ	デイルーム
12月14日～12月19日	誕生会(12月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
1月12日～1月16日	誕生会(1月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
1月5日～1月9日	新年のお茶会	職員のお手前で抹茶と和菓子をいただく	デイルーム
2月15日～2月20日	誕生会(2月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム
3月15日～3月20日	誕生会(3月)	手作りケーキをいただきながらのティータイム	デイルーム

※ 新型コロナウイルス感染症予防による制限等の中で適切に実施しました。

令和 2 年度 外部研修実績表（ひまわり荘通所介護事業所）

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症のため研修等は中止となったため研修への参加はできませんでした。
その代わりに、動画配信による研修会を実施しました。

※ 厚生労働省の動画配信

「送迎時のそうだったのか！感染対策」について
介護サービスを提供する際の衛生管理
介護サービス提供の場で行う感染対策
感染拡大防止のための職員の健康管理

令和2年度 内部研修実績表（ひまわり荘通所介護事業所）

日 程	参加者数	内容
令和2年 4月13日(月) 17:00~17:30	7名	1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止について
5月15日(金) 17:00~17:30	6名	1. 新型コロナウイルス感染症について
6月24日(水) 17:00~17:30	7名	1. 食中毒予防について
7月21日(火) 17:00~17:30	6名	1. 熱中症予防とマスク着用時の熱中症対策について
8月24日(月) 17:00~17:30	7名	1. コロナ禍の中でのメンタルヘルスケアについて
9月25日(金) 17:00~17:30	7名	1. 身体拘束について
10月27日(火) 17:00~17:30	7名	1. インフルエンザと新型コロナウイルス感染症
11月25日(水) 17:00~17:30	8名	1. 現在の業務見直しについて
12月22日(月) 17:00~17:30	7名	1. ノロウイルス感染症について
令和3年 1月25日(月) 17:00~17:30	7名	1. 身体拘束（虐待）について
2月22日(月) 17:00~17:30	7名	1. 感染症対策（疥癬）
3月23日(火) 17:00~18:00	7名	1. バイタルチェックと衛生管理について

令和2年度 太陽の里いわき居宅介護支援事業所事業報告書

介護保険法に従い、利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切なサービスが総括的かつ効率的に提供されるように支援するとともに、利用者の意思及び人格を尊重し適切な支援が行ないました。今年度は感染症による通常の研修というものではなく、オンラインによる研修に参加することで介護支援専門員としての質の向上に努め、中立公正に基づいたケアプランを策定し、さらに新規利用者の確保にも繋がるようにしました。

1. 居宅サービス計画数の確保

事業所の員数標準数は、地域包括支援センター等への働きかけにより、新規利用者の確保に繋がり、コロナウイルス感染症の影響はありましたが、サービスを利用しない人数を減らすことができました。サービス計画書の作成後は、利用者の在宅での状況やサービス利用状況の経過観察を重要視し、サービス計画書に変更を要するときには、速やかに変更ができるように連携を図ることで、利用者の意向や希望を勘案したサービス計画書の作成にあたりました。

2. 介護支援専門員としての質の向上

介護支援専門員として必要な知識や技能の習得、さらに今年度は、オンラインによる研修等への参加に心掛け制度の改定等を理解しながら、それをサービス計画書作成に反映させ、よりよいサービス計画書になるよう取り組みました。

3. 人とのネットワークの構築

サービス担当者会議などを含めて各サービス提供事業所との情報交換を行なう事により、情報の共有化や連携を深めることができ、利用者へチームアプローチがスムーズにできるように取り組みました。

4. 秘密保持

ケアマネジメントを行なう上で様々な関係者と利用者等の情報を共有するにあたっては、事前に利用者や家族へ説明を行い、理解をしていただき情報開示の承諾を文書

で取り交わすことにより円滑に実施することができました。

5. 心のこもったケアプランの作成

利用者やその家族との信頼関係のもとに、本人の意思を尊重しニーズや希望を的確に捉え、サービス計画書を作成、提案することができました。また、遂行状況もモニタリングをして、フォローアップに活かし利用者にとって必要なサービス計画書となるよう取り組みました。

6. コミュニケーション能力のフル活用

利用者が求めていること・不安なことを、介護支援専門員としてコミュニケーションの基本技法を活用しニーズや問題点、困っている事などを把握し、さらに、本人の持っている能力を引き出せるよう取り組み、各関係事業所との連絡調整においても新型コロナウイルス感染症に注意しながら適切に情報交換を遂行しました。

7. 心のこもった相談・苦情受付

利用者、家族の立場に立ち気持ちに寄り添いながら、その方らしい生活が送れるよう取り組みました。

利用者や家族には、新型コロナウイルス感染症に対する予防等の知識について分かりやすく説明をし、不安軽減に努めました。

8. 管理資料の記録及び保管

利用者及びその家族の個人情報、相談・苦情内容、サービス計画書、給付管理票など各種記録は、正確に記録し、基準に基づき保存、保管いたしました。

9. その他

特定事業所加算Ⅲを算定し、地域包括支援センターとの連携を図り 24 時間連絡体制を確保し必要に応じて利用者の相談に対応しました。さらに計画的に定例会議等を実施し事例検討会にも参加しました。新型コロナウイルス感染症予防策として利用者宅への訪問は、検温、マスク着用、アルコール消毒等を徹底することで感染防止に努めました。

利用状況（太陽の里いわき居宅介護支援事業所）

<利用者>	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	前年比
支援1	3	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	59	26	33
支援2	6	8	10	10	10	11	12	14	13	11	9	10	124	66	58
要介護1	31	30	30	29	30	30	33	32	31	31	31	32	370	375	△5
要介護2	42	42	43	43	41	39	40	40	39	38	36	37	480	484	△4
要介護3	22	23	23	22	22	24	23	24	23	23	23	22	274	263	11
要介護4	9	9	8	8	10	10	12	13	14	13	13	12	131	107	24
要介護5	4	4	3	4	4	3	4	3	6	7	6	8	56	43	13
サービス登録者数	117	120	121	120	121	121	130	132	132	129	124	127	1,494	1,364	130
サービス未利用数	7	8	5	2	4	4	6	6	0	3	4	5	54	64	△10
サービス利用者数	110	112	116	118	117	117	124	126	132	126	120	122	1,440	1,300	140
新規契約数	5	8	4	2	2	4	9	5	2	1	1	4	47	37	10
契約解約数	3	5	3	3	1	4	0	3	2	4	6	1	35	36	△1
男	31	31	32	31	33	32	35	37	36	37	33	34	402	372	30
女	86	89	89	89	88	89	95	95	96	92	91	93	1,092	992	100

令和2年度 内部研修実績表 (太陽の里いわき居宅介護支援事業所)

日 程	参加者数	内 容
令和2年5月27日(木)	3名	1. 台風・豪雨時に備えて「ハザードマップ」での避難先の確認について
6月25日(木)	3名	1. 台風・豪雨時に備えての避難行動について
9月24日(木)	3名	1. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
10月21日(木)	3名	1. 事例研修 : 若年性認知症、理解と対応について
11月26日(木)	3名	1. 事例研修 : 高齢者の虐待の防止
令和3年2月25日(木)	3名	1. 「バリデーション」 本心に寄り添うケア

令和2年度 外部研修実績表（太陽の里いわき居宅介護支援事業所）

日 程		内 容	会 場
令和2年7月28日（火）		他事業所合同 介護支援専門員事例検討会	太陽の里いわき・ケアハウス
11月11日（水）		令和2年度第4回平地区介護支援専門員交流会	中央台公民館 大会議室
令和3年3月10日（水）		令和2年度第6回平地区介護支援専門員交流会	オンライン（ZOOM）

令和2年度 ケアハウス日之出荘事業報告書

老人福祉法及び介護保険法に従い業務内容の充実に努め、入居者が健やかで安全に安心して生活できる環境づくりに努め、要介護認定を受けている入居者の皆様には、本人の意向などを十分に配慮した特定施設サービス計画書を作成し、自立した生活を送れるよう支援して参りました。

入居者の高齢化に伴い、ADLの低下や認知症の進行、医療面でのリスク管理にしっかりと対応していくことが必要であり、ケアハウスという環境の範囲でできる限り対応できるように努めています。しかしながら、自立から要介護5の入居者が一つの施設に混在されている中で、個々の状態に応じた幅広いサービス提供が求められるため、入居者やご家族のニーズにどれだけ応えていけるかが課題です。課題に取り込むにあたり、あらためて職員が入居者の生活を支えているということの責任を自覚し、意欲向上につながるような環境作りに取り組み、更なるサービス向上に努めていきたいと思えます。

1. 安定した運営（居室定員の充足）

1人部屋52部屋、2人部屋14部屋に対して、退居者がでた場合には、できるだけ迅速に待機者の方々に入居して頂けるよう配慮し、空床を作らないよう努めました。今後も常に待機者がいる状態にし、急な退居者が出た場合でも対応できるようにいたします。

また、日ごろの入居者様との会話を通じて健康状態を把握し、管理してきました。身体状態によっては、介護保険の利用について説明、手続き等について情報提供させて頂きました。より個別に介護を受けられる環境を提供し、心身ともに健康な状態で施設生活を継続していただけるよう異常の早期発見・感染予防・情報の共有等職員全員で努め、安心して生活していただけるよう取り組むことが出来ました。

2. 職員の資質の向上・サービス提供力の向上

新型コロナウイルスの影響で、外部研修会及び講習会への参加は一時中止しておりますが、職員研修会では外部講師を招き、技術の習得と知識の向上が図れました。

各委員会活動では、具体的な目標の取り組みを行い、定期的な委員会開催にて評価・改善し、それらをまとめた事例報告や発表など、各委員会が主となって内部職員研修で周知し、職員全体のレベルアップを図り、委員会を通じて意欲と自己重要感、OJTの推進に努めました。

3. サービスの充実と見直し

入居者のニーズを把握し、個別処遇の充実を図り、また、特定施設入居者生活介護の入居者に対しましては、特定施設サービス計画を充実させ、本人及び家族の意向を十分に取り入れるなど、入居者が自立した日常生活を営むことができるように支援しました。

趣味活動として、各種クラブ活動・行事の実施により入居者間の交流を図り、活気ある生活を送れるように努めていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため買い物ツアー及びミニドライブ等の行事などは引き続き中止としております。また、クラブ活動では三密にならないように内容を変更してコロナ禍の工夫が続けられています。

入居者が安心して生活ができるように各種生活相談の対応や家族へ入居者の日常生活及び身体状況の報告を行いました。今後も入居者様、ご家族様との信頼関係の構築に努めるとともに、入居者様の尊厳を保ち、健康で自立した生活を支援し、入居所様本位の適切で良質な高齢者サービスを提供していきます。

医療対策委員会の定期的な開催や職員研修を行い、入居者様の健康管理及び感染症等の予防に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、「手洗い・アルコール消毒等の手指の衛生」「マスクの着用」「うがい」「検温・体調管理」等の基本的な感染対策を徹底しました。面会につきましては、10月1日～1月6日まで一部緩和にて実施しておりましたが、新型コロナウイルスの感染者状況を踏まえ、1月7日より当面の間、面会禁止と致しました。ご家族様へのご協力のお願いと、不安を解消するため事前に書面での説明を行いご理解していただけるよう努めました。

事故対策・身体的拘束等適正化委員会の定期的な開催と職員研修を行い、ヒヤリハット及び事故内容を把握し各入居者様の事故防止対応についても日々検討を行い、再発防止に努めました。また、身体的拘束のとらえ方としても、入居者様の自由を制限し、尊厳のある生活を阻むものと考え、入居者様にとって安心した「生活の場」の提供を第一に考え、身体拘束ゼロに向けた取り組みも行いました。

処遇委員会の定期的な開催と職員研修を行い、入居者様がより安全快適で活気ある生活ができるよう生活の質の向上に努めました。

4. 地域交流

付属幼稚園の園児や高校生によるダンス等の外部関係行事、また、音楽の演奏会等のボランティアを数多く受け入れて地域の方々との交流を図っていましたが、ご利用者様や関係者の安全を鑑み、引き続き新型コロナウイルス感染状況を考慮し、交流を中止しております。

5. 事務業務管理

各種規程、帳簿等についての整備を行い、利用料および介護報酬等の事務処理を正確に行ないました。また、補助金はいわき市へ滞りなく申請致しましたので、今後も不備のないように努めていきます。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、不足するマスクやアルコール消毒液、使い捨て手袋等の在庫管理並びに確保の取り組み、業務遂行に支障がでないように対応を行いました。

その他、消耗品備品等を有効に活用し、維持管理も行い、経費の節減に努めました。

6. 環境の修繕整備など

職員が常時、食堂・娯楽室・廊下等共有部分を感染症予防のため消毒を行いました。浴室は業者が定期的に清掃を行い、清潔を保つよう努めました。

施設設備の破損や異常については速やかに修繕を行いました。敷地内の舗装や施設内部の修復部分について、緊急性・重要性等を考慮し、適宜修繕し、安全な生活環境の整備に努めました。

その他、特定施設入居者生活介護利用者の要介護度も上がり、大浴場での対応が困難な状況になってきた方にも身体的負担もなく安心安全に入浴ができるリフト浴を新設し、ゆったりと入浴を楽しんでいただける環境設備を行い、サービスの向上に努めました。

令和2年度 ケアハウス日之出荘利用状況

		04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	差
月初在籍		73	73	73	73	73	73	73	73	73	72	71	72	-		
退去		0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	5		
入居		0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	4		
月末在籍		73	73	73	73	73	73	73	72	69	71	72	72	-		
一般	実人数(※)	43	43	42	43	43	43	44	43	45	45	46	47	527	525	2
特定	実人数(※)	30	30	31	30	30	30	29	30	27	26	26	25	344	350	△6
	支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	△7
	支援2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	22	△18
	要介護1	7	7	7	7	7	6	6	7	5	4	4	4	71	86	△5
	要介護2	10	10	10	8	8	8	8	7	7	7	7	7	97	75	22
	要介護3	8	8	8	8	8	9	9	10	9	9	9	9	104	95	9
	要介護4	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33	29	4
	要介護5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35	36	△1
一般	延人数	1,290	1,333	1,260	1,333	1,333	1,333	1,364	1,290	1,395	1,395	1,288	1,457	16,071	15,777	294
特定	延人数	856	838	855	930	919	869	840	804	806	781	706	761	9,965	10,208	△243
	支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	△142
	支援2	0	0	30	31	31	30	0	0	0	0	0	0	122	658	△536
	要介護1	180	193	210	217	217	180	160	129	124	124	112	124	1,970	2,484	△514
	要介護2	286	242	225	248	237	209	229	210	217	217	196	203	2,719	2,229	490
	要介護3	240	248	240	248	248	270	265	285	279	254	238	279	3,094	2,842	252
	要介護4	60	62	60	93	93	90	93	90	93	93	84	93	1,004	755	249
	要介護5	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	76	62	1,056	1,098	△42
	入院・宿泊	7	68	77	32	14	33	62	75	31	26	17	14	456	394	62
	1人部屋	52	52	52	51	52	52	52	52	52	51	52	52			
	2人部屋	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20	20	20			

※：実人数の合計数は、月初在籍・月末在籍のどちらか最大の数。

令和2年度 ケアハウス日之出荘内部研修実績表

日 程		参加者数	内 容
07月03日(金)	18:00~19:30	16名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事故対策・身体的拘束等適正化委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット・事故報告について ・フィジカルロック(身体の拘束)について 2. 医療対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒, 熱中症について ・新型コロナウイルス感染症について 3. 処遇委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 4. その他
11月06日(金)	18:00~20:30	16名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業倫理 <ul style="list-style-type: none"> ・講師: 福島県介護福祉士協会 遠 乃介様 熊耳 和久様 2. 医療対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ, 誤嚥性肺炎について ・糖尿病とインスリン注射について 3. 事故対策・身体的拘束等適正化委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット, 事故報告について ・スピーチロック(言葉の拘束)について 4. その他
03月19日(金)	18:00~19:40	16名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 処遇委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度反省, 来年度計画 2. 事故対策・身体的拘束等適正化委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度反省, 来年度計画 ・ヒヤリハット, 事故報告について ・身体拘束について 3. 医療対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度反省, 来年度計画 ・新型コロナウイルス感染症について 4. その他

令和2年度 ケアハウス日之出荘行事実績

	行事名	内容	行先	参加人数
03月18日	避難訓練	火災を想定して避難訓練を実施。	施設内	38名
12月10日	避難訓練	夜間を想定して避難訓練を実施。	施設内	30名
12月24日	大掃除	各階の窓拭きを実施。	施設内	29名

令和2年度 太陽の里いわき訪問介護事業所事業報告書

ご利用者様がご自宅で自立した生活が送れるように支援いたしました。ご家族と協力し合い生活されている方、ご家族ご親戚とは疎遠になり一人で暮らしておられる方など生活状況は様々ですがご家族の負担も考慮にいれながら利用者様が幸福に暮らせることを第一に考えてサービス提供しております。

介護サービスに強い拒否がありご家族も利用をあきらめかけた方にも認知症の特性を踏まえた接し方で粘り強く対応しサービス提供を開始し、支援を続けることができています。

職員の確保ができず当初の目標の事業拡大ができませんでした。

1. 利用者様の確保

令和1年度からは提供回数が55%ほど増加しましたが当初の目標には達しませんでした。年間を通じて居宅支援事業所からの依頼はありますが時間帯がうまく調整できず契約にいたらないケースがありました。職員不足が最大の要因でした。

2. 職員の確保

費用をかけずに職員採用を目指しましたが令和2年度は成果があげられませんでした。

3. 利用者様に適した個別プラン、手順書策定

何をすれば拒否なく支援を開始できるか継続できるかなど考え計画、手順書を作成しております。利用者様がもっておられる拘りなどに着目しながら会議で策定されたケアプランを着実に実行できました。

また、利用者様の変化に応じてご本人、ご家族、ケアマネジャーに新たな支援を提案、提案をした支援の実施ができています。

4. 衛生管理

清潔感を重視し、利用者様に不快感を持たれないように心がけました。新型コロナウイルス感染症の対策としては、毎朝体温測定し報告してから出社、マスク着用、利用者様宅への訪問前後の手指アルコール消毒、サービス提供時には適宜使い捨て手袋の使用、外食の禁止、施設内での飲食も禁止をし互いに濃厚接触者にならないようにしております。

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業により車両2台購入いたしました。家族、友人等自分以外も同乗する私用車ではなく公用車を使用することで衛生環境が向上しました。

5. その他

これまで公用車は1台で、他の事業所との共用であったため自家用車で訪問すること多く、日々50キロから100キロ近く移動することで職員から自己の車両の消耗が気になるとの声もありました。今後は、専用の車両が2台あるので移動距離を気にすることなく訪問出来るようになりました。

利用状況(太陽の里いわき訪問介護事業所)

〈実人数〉	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	昨年度	比較
要支援	5	5	5	6	5	5	5	5	5	4	2	3	55	50	5
要介護	33	32	33	32	32	31	31	30	29	29	30	29	371	277	94
自費	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	24	0
計	40	39	40	40	39	38	38	37	36	35	34	34	450	351	99
〈提供回数〉															
要支援	20	18	21	27	18	22	18	18	18	13	8	10	211	184	27
要介護	441	421	407	400	371	379	365	341	358	331	335	398	4547	2848	1699
自費	2	6	6	6	5	5	5	7	3	9	8	5	67	70	-3
計	463	445	434	433	394	406	388	366	379	353	351	413	4825	3102	1723

※ 自費の提供回数には要介護の利用者様の提供で介護保険適用のならないものが含まれています(11月が1件、1月が5件、2月が3件)。

令和2年度内部研修表(太陽の里いわき訪問介護事業所)

日時	参加数	内容	場所
04月15日(水)	4名	買物支援について	訪問介護室
05月13日(水)	3名	感染症について(新型コロナ①)	訪問介護室
06月10日(水)	4名	服薬について(拒否時の対応)	訪問介護室
07月17日(金)	4名	歩行介助について	訪問介護室
08月20日(木)	3名	排泄介助(清拭、陰部洗浄)	訪問介護室
09月2日(水)	4名	既往歴と再発の前兆について	訪問介護室
10月14日(水)	4名	BPSD緩和のための接し方①	訪問介護室
11月24日(火)	4名	BPSD緩和のための接し方②	訪問介護室
12月21日(月)	3名	調理支援について(高血圧対応)	訪問介護室
01月11日(月)	3名	食事介助について(嚥下、拒否時の対応)	訪問介護室
02月22日(月)	3名	感染症について(新型コロナ②)	訪問介護室
03月30日(火)	4名	看取りの支援について	訪問介護室

令和2年度 介護老人保健施設二ツ筋荘 事業報告書

1.基本方針について

- 1)「敬愛、敬老、敬心」の理念の基に、質の高いサービスの提供に努め、利用者や家族に安心安全の提供に努めました。
- 2)常に介護保険法令を遵守しながら、職員配置による組織づくりや更なる加算取得に努める事が出来ました。
- 3)医学的管理の下における看護、介護、機能訓練、食事、その他必要なケアを施設サービス計画に基づき自立した生活が営むことの出来るよう努めました。

2.施設運営について

- 1)常勤医師1名をはじめ、適正な人員配置を行い、料金改定などの取り組みを職員の協力の下に実行できました。
- 2)新型コロナウイルスに関する感染防止策をはじめ、厚労省発出の「臨時的な取扱い(第1報～第20報)」による施設運営が実行できました。

3.医療ニーズの対応強化への取り組みについて

- 1)医師、看護職、リハビリ専門職、相談員などを中心に、利用者や家族からの要望を協議検討し、通所者の在宅生活や入所者の在宅復帰が出来るよう、本来の介護老人保健施設の機能を果たす事が出来ました。

4.返還金への対応について

- 1)介護保険法2年間分(243,000,000円)
平成27年度に秋田銀行借入によりいわき市へ一括返還しております。
秋田銀行への返済計画は平成28年度から令和7年度までの10年間です。
今年度銀行返済は元金24,300,000円、利息3,714,698円計画通り実行しました。
- 2)民事法3年間分(260,518,167円)
いわき市への返還金返済計画は平成28年度から令和7年度までの10年間です。
今年度返還金は20,400,000円計画通り実行しました。

5.重点施策及び6.運営計画について

- 1-定員確保
 - 1)関係機関への情報提供や訪問等によりサービスへの認知に努め新規獲得に努めました。
 - 2)前年度比では入所延643名増、ショート延818名減、通所延799名増と総合的には大きく前年度を上回ることが出来ました。
 - 3)ショートステイは5月より新型コロナウイルス感染防止のため休業しています。
- 2-人員配置
 - 1)医師をはじめ看護職、介護職、作業療法士、薬剤師、介護支援専門員など介護保険法上適正に配置しました。
 - 2)非介護従事者の採用により、円滑な介護業務が実現できました。
- 3-非常災害時の対策
 - 1)新型コロナウイルス感染防止に取り組みました。
 - 2)年2回の火災想定避難訓練と土砂災害想定避難訓練を実施しました。
コロナ感染防止のため消防設備点検と消防署立入検査は見送りました。
 - 3)保存食等の食材備蓄を適正に実施しました。
- 4-看護、介護業務
 - 1)医師を中心とした医療的機能の高い看介護体制を維持できました。
 - 2)利用者の療養目標を介護支援専門員と共有し、利用者や家族の意向に沿った看介護ケアが実践出来ました。
 - 3)定期的に定例会や各委員会、検討会を行い、より良い看介護ケアのための改善が出来ました。
 - 4)勉強会を通じて看介護の知識や技術向上に取り組むことが出来ました。
 - 5)褥瘡ケアに力を入れ、委員会での活動により延べ人数を減少出来ました。

5-リハビリテーション業務

- 1) 全人的な回復という本来の機能訓練の目的を果たすため、他職種と協同しながら質の向上に努めました。
- 2) 終末期においては残存機能を生かせる機能訓練に取り組みました。

6-介護支援専門員(施設)業務

- 1) 個人のニーズに合わせたケアマネジメントを実践することが出来ました。
- 2) 医師をはじめ関係部署との調整や連携など密に行い、最も有効な施設サービス計画を作成することが出来ました。
- 3) 適正な要介護度でサービス提供を行うにあたり、介護認定の区分変更を行い、11の方が適切な施設サービス計画書へと結びつきました。

7-支援相談員業務

- 1) 相談、要望、苦情など利用者や家族より発信されたことについて、ご意見箱や職員などより情報収集し当該者への救済に努めました。また、これら事例を分析し施設全体で共有し、工夫や改善に努めました。
- 2) 施設類型「加算型」の維持のため、入所前後訪問指導を始め、毎月の指標点数の確認作業を実施しました。

8-給食業務

- 1) 利用者の病状、栄養状態、心身状況及び嗜好を定期的に把握し計画的な食事を提供することが出来ました。
- 2) 栄養マネジメントや療養食の加算取得に努めました。
- 3) 衛生管理の徹底と保存食や非常食管理に努めました。
- 4) 献立内容の研究や改良により食生活全般の改善に努めました。

9-事務業務

- 1) 介護報酬を精査し加算取得に向けて常に他職種と連携協議を行いました。
- 2) いわき市との連携により申請や請求等を適正に実行できました。
- 3) 預かり金や小口現金の適正な運用と管理が出来ました。
- 4) 利用料金の振込化を進め、事務処理及び滞納の改善に努めました。

10-職員研修業務

- 1) コロナ禍の中、WEB開催の研修をすすめ、「リスクマネージャー養成」など最低限必要な外部研修を受講し施設全体のスキルアップに取り組みました。

11-渉外関係

- 1) 小川地区の保健福祉センターや地域包括支援センターとの連携により適切なサービスへの結び付けや取り組みが出来ました。
- 2) 協力病院との継続契約締結や地域医療機関との連携により安定した施設運営に取り組みました。

12-設備備品の改善

- 1) 生活環境改善に向けベッドの入れ換え、褥瘡予防マットレスの購入、エアコンの入れ換えや除菌処理、リハビリ器具の充実、消毒保管庫や車いすの入れ換えなどを実施しました。
- 2) 昨年度、消防検査で指摘のあった厨房用ガスボンベ保管庫を現在の基準に適した形で設置しました。
- 3) 新型コロナウイルス感染対策、また長年の懸案事項でもあった通所リハビリ専用浴室を建築することで、感染症や施設内事故などへの安全安心を得ることが出来ました。

13-職員の健康管理

- 1) 職員への健康診断を職種に応じて適正回数実施しました。また、検査異常者には個別に注意や再検査を促しました。
- 2) 衛生委員会及びストレスチェックを実施し、産業医からのご指導やご意見をいただきました。

14-苦情や相談への対応

- 1) 利用者や家族からの苦情や相談等は、ご意見箱や職員などより情報収集しサービス向上委員会を通じて、取り組みや対応策を全職員が共有出来るよう職場内へ回覧しました。
- 2) 虐待の芽チェックリストを定期的の実施するなど虐待予防や危機意識向上を図り、テーマをもうけ、問題解決に努めてきました。

15-家族との交流

- 1) コロナ禍の中、夏祭りや敬老会などの来荘を促す行事は内容を変更し、施設内で感染防止を図りながら、静かに楽しめる内容にて執り行いました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症対策のため、来荘を含め面会謝絶などをお願いしている中、施設との距離を縮めるためにホームページ掲載や行事等の写真を送付したり、施設にいらっしゃるご家族にはテレビ電話にて交流を図ってもらい、施設との壁が生じないように努めました。

16-地域との交流

- 1) 地区小中学校生徒の福祉体験やボランティアの受け入れは、新型コロナウイルス感染症対策のため行いませんでした。
- 2) 地域貢献活動でもある「介護予防・つどいの場」や「認知症・オレンジカフェ」への専門職派遣は新型コロナウイルス感染症対策のため行いませんでした。

17-居宅介護支援事業所ふたつや(介護支援専門員)

- 1) 介護保険法令に沿って適正な事業運営を行いました。
- 2) 特定事業所加算(Ⅱ)やその他の加算の請求や特定事業所集中減算適用外への資料の準備など適切に対応しました。
- 3) 介護認定調査委託1件(コロナによる臨時的な取扱いで減少)。
- 4) ケアマネ人員体制を3名から4名に拡大し、それによる加算も取得し、主な担当地域を小川、平窪、赤井地区から好間、内郷方面も視野に入れて活動範囲を拡大し受け持ち件数の拡大に努めました。
- 5) 常に利用者の立場に立って公正中立にサービス提供へと結びつけました。
- 6) 社会資源の発掘や各サービス事業所との連携を図り、可能な限り居宅における自立生活、生活の質などが低下しないように努めました。

各事業の実績状況

(単位:人)

令和2年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期入所	入所者数	2,333	2,470	2,327	2,424	2,452	2,385	2,474	2,396	2,445	2,480	2,225	2,475	28,886
	1日平均 (利用枠78→80名)	77.8	79.7	77.6	78.2	79.1	79.5	79.8	79.9	78.9	80.0	79.5	79.8	79.1
	新規入所者数	2	2	3	4	1	2	1	1	3	0	2	2	23
	退所者数	0	1	6	1	0	2	1	1	3	0	2	2	19
	稼働率	99.7%	99.6%	97.0%	97.7%	98.9%	99.4%	99.8%	99.8%	98.6%	100.0%	99.3%	99.8%	99.1%

* 利用枠78名から5/1より80名へ変更しました。

* 前年度平均稼働率 98.9%

短期入所	利用者数	71	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72
	1日平均 (利用枠2→0名)	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	稼働率	118.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%

* 利用枠2名から5/1より0名へ変更しました。

* 前年度平均稼働率 119.3%

通所リハビリ	利用者数	377	337	470	464	406	464	504	432	446	419	405	527	5,251
	1日平均 (定員25名)	17.1	18.7	21.4	22.1	22.6	23.2	22.9	22.7	22.3	22.1	22.5	22.9	21.7
	稼働率	68.5%	74.9%	85.5%	88.4%	90.2%	92.8%	91.6%	90.9%	89.2%	88.2%	90.0%	91.7%	86.8%

* 前年度の定員22名。 4月と5月はコロナによる利用自粛者がおりました。

* 前年度平均稼働率 85.0%

居宅介護支援	予防認定者数	16	14	16	19	17	17	18	20	19	20	17	19	212
	介護認定者数	102	95	103	104	106	104	117	109	113	107	106	116	1,282
	合計数	118	109	119	123	123	121	135	129	132	127	123	135	1,494
	1人の受持数 (定員40名未満)	36.7	34.0	37.0	28.4	28.6	28.1	31.5	29.8	30.6	29.3	28.6	31.4	31.2

* ケアマネ3名体制から7/1より4名へ変更しました。

* 前年度平均受持ち数 36.3名

令和2年度 ニツ箭荘の動き

月	日	区 分				内 容	参加者等
		レク・ 行事	研修・ 出張	修繕等 10万超	施設・ ボラ等		
4	1				○	辞令交付	6名
	16	○				民謡・歌謡曲レク	20名
	23		○			「介護福祉職員のためのマナーと接遇」教材	---
	30			○		厨房動力電源増設工事	---
5	19	○				移動屋台レク	全員
	28	○				春の運動会レク	全員
	31			○		グリストラップ土圧対策工事	---
6	30			○		ボイラーのオイルポンプ及び配管工事	---
8	23	○				日曜大エレク	3名
	26		○			企業 BCP(事業継続計画)策定セミナー	1名
	27	○				荘内夏祭り	全員
9	10				○	市議会議員期日前投票	16名
	24	○				荘内敬老会	全員
10	1				○	火災想定避難訓練	全員
	14		○			介護支援専門員更新専門研修Ⅱ	1名
	18	○				日曜大エレク	3名
	22	○				誕生会	全員
	31			○		スチームコンベクションオープン修理	---
11	1				○	通所リハビリ用浴室建築工事	---
	5				○	土砂災害想定避難訓練	全員
	19	○				美容レク	5名
	19	○				イルミネーション装飾	---
	30		○			「作業療法ジャーナル」教材	---
12	7		○			リスクマネージャー養成講座 WEB 開催	1名

月	日	区 分				内 容	人数
		レク・ 行事	研修・ 出張	修繕等 10万超	施設・ ボラ等		
12	8	○				内装・装飾品変更	---
	16	○				カップ麺レク	---
1	14	○				書初めレク	---
	21				○	新型コロナウイルス感染拡大防止訓練	全員
	31			○		消防用設備不良箇所修繕	---
2	4	○				豆まき・節分レク	全員
	13				○	福島県沖地震 震度 5 強(柱基礎ひび割れ、雨漏り、漏水の発生)保険会社へ相談	---
	28			○		療養棟暖房配管修繕	---
	28			○		ボイラー部品交換	---
3	4	○				誕生会	全員
	18	○				美容レク	5名
	19				○	いわき市派遣の保健師による「新型コロナウイルス感染症対策」の評価と助言	---
	25				○	火災想定避難訓練	全員
合計件数		16件	5件	7件	9件		

* 各レクリエーション活動や訓練などは新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら行っております。

令和2年度 児童養護施設いわき育英舎 事業報告書

基本方針

1. いじめや暴力のない生活
2. 素直な気持ちで生活
3. みんなで創る生活

『あらゆる暴力的行為の否定と一人ひとりが人権を尊重され、安心して暮らせる生活を根幹に据えて、自分を見つめる力、他者へのやさしさ、思いやりのこころを育む。そのような生活づくりを体験できる施設での家庭的な生活を目指す』

令和2年度は、基本方針を念頭におき、児童養護施設で暮らし、巣立っていく子どもたちが、よりよく生きることを保障できる施設を目指し、以下の点に努めた。

- (1) 子どもたち1人ひとりの課題分析をより具体化し、自立支援計画への反映、実践、評価を重ね日々の支援の充実を図った。
- (2) 「この子を受け止めて、育むために」を毎日読み合わせし、当たり前のことを繰り返し、積み重ね、生活力を高めるとともに、コミュニケーションの充実を図った。
- (3) 大震災を教訓に危機管理体制を強化し、あらゆる災害に対応できるよう備えを充実し、避難訓練をとおり子どもたちの安全に努めた。

退所児童状況

- | | |
|---------|--------------|
| 【家庭復帰】 | 3名 |
| 【自立】 | 2名（男1名 女1名） |
| ① 多機能事業 | 里親レスパイトケア 1名 |

② 児童処遇

年少児——基本的生活習慣の確立及び遊びを通して心身両面の育成に取り組んだ。

幼稚園を活用しながら、集団生活への適応力の向上を図った。

小学生——基本的生活習慣に努めた。

旅行や行事を通して、社会性や協調性そして自立性の高揚につながった。

小学校と適宜情報共有を行い、子どもたちの共通理解を深め、生活と学習の向上につながった。

中高生——基本的生活習慣の習得を図り、社会性、協調性及び自立意欲の向上に努めた。

部活と学業の両立が図れるように指導にあたった。

進路指導にあたっては、進路目標、意識の高揚を図りながら、学校及び関係者との連携を図った。

高校卒業後の進路については、学校との連携を図り、本人の意思を尊重しながら努めた。

就労を希望する児童へ市内のアパートを用意し、一人暮らしの体験をさせ、退所後の生活を意識させた自立訓練を行った。

③ 健康衛生管理

健康診断を年2回実施した。身長と体重は、施設内で隔月実施した。

児童に検便を年2回実施し、感染症の予防に努めた。

毎日の健康観察により、疾病の早期発見と早期治療に努めた。

新型コロナウイルス対策の為、毎日の検温、共用部分の消毒、衛生教育を実施した。

国や自治体からの緊急事態宣言等の対策の要請があった際には、児童、保護者へ説明、連絡を行い、外出、面会等の制限を行った。また、感染の疑いがあった児童への対応として、学校等関連機関と協議し、欠席させる等の対応を行った。

④ 給食状況

より家庭的な雰囲気になるように、献立、食器、提供の仕方等を工夫した。

年齢やアレルギーに配慮しながら、栄養を考え供給した。

食事作り、配膳、食器洗い、米とぎ等子どもたちがお手伝いできることを増やした。
衛生的な食事環境作り配慮し、正しい食習慣の確立に取り組んだ。

⑤ 地域交流の推進

地域や学校行事に積極的に参加協力を行った。

体育館の改修が完了し、地域の団体等に貸出しを行った。

⑥ 苦情解決

好間之家に苦情箱を設置した。

子どもからの苦情、権利についての訴えに対し、関係機関と協力し権利教育を実施した。

⑦ 里親支援事業

里親専門相談員を配置し、浜通り圏内を児童相談所、里親会等と連携しながら、里親宅訪問、里親の新規開拓を行った。

入所児の状況

	年度初	年度末	増減
幼児	3名	4名	1名
小1	1名	1名	0名
小2	4名	4名	0名
小3	3名	3名	0名
小4	3名	2名	△1名
小5	1名	1名	0名
小6	4名	4名	0名
中1	2名	2名	0名
中2	4名	5名	1名
中3	0名	1名	1名
高1	1名	1名	0名
高2	8名	8名	0名
高3	2名	1名	△1名
その他			0名
合計	36名	37名	1名

行事実施報告

月	行事	場所
6月	ひまわり・さくらグループリフレッシュ活動	Jヴィレッジ
8月	さくらグループ活動	小名浜イオンモール
	チューリップグループ活動	アクアマリンふくしま・小名浜イオンモール
	コスモスグループ活動	小名浜イオンモール
	好間の家グループ活動	小名浜イオンモール
	育英舎夏祭り	育英舎グランド
10月	チューリップグループ買い物学習	マルト城東店
11月	芋煮会	育英舎中庭
	コスモスグループ活動	平イオン・ラトブ
	ひまわりグループ活動	夏井川溪谷キャンプ
12月	チューリップグループ活動	アミーゴ・イオン・すたみな太郎
	好間の家グループ活動	すたみな太郎
	さくらグループ	小名浜イオン
	クリスマス会	育英舎地域交流ホール
3月	卒業祝う会	育英舎地域交流ホール

職員数の状況

	定数	実数	
施設長	1名	1名	
副施設長		1名	
指導員	8名	8名	
保育士	3名	4名	
個別対応職員	1名	1名	
家庭支援相談員	1名	1名	
里親支援専門相談員	1名	1名	
心理担当職員	1名	1名	
看護師	1名	1名	
事務員	1名	1名	
栄養士	1名	1名	
調理員	3名	3名	(内非常勤1名)
管理宿直等職員	1名	2名	(内非常勤1名)
嘱託医	1名	1名	(非常勤)
合計	24名	27名	

入所の状況

入所理由(主訴)	養育困難	19名
	虐待	12名
現在の家族構成	父子家庭	5名
	母子家庭	26名
	両親いる家庭	3名
	両親いない家庭	2名

令和2年度 いわき育英舎 研修出張一覧

NO.	実施日	主催	用務（研修内容等）	場所	参加人数
1	8月24日～26日	県社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	2名
2	9月2日～4日	県社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	2名
3	9月9日～11日	県社会福祉協議会	初任者研修	福島県総合社会福祉センター	1名
4	11月7日～9日	公益財団法人SBI子ども希望財団	SBI児童養護施設職員研修(後期)	ホテルフォンテーヌグランド東京有明	1名
5	11月12日	児童福祉施設部会職員研究会	施設訪問研修	福島学園	2名
6	12月3日～4日	児童福祉施設部会職員研究会	職員研修会	郡山総合福祉センター	1名
7	12月11日	公益財団法人SBI子ども希望財団	SBIブロック別児童養護施設職員リーダー研修	ホテルメトロポリタン仙台	1名
8	2月20日	全国社会福祉協議会	FSW研修	オンライン	1名

令和2年度 いわき育英舎 支援者交流一覧

No.	日付	支援者名等	イベント名	団体参加人数	児童参加人数	職員参加人数
1	令和2年11月15日	(有)メガサポート・ササキ	職業体験	4名	8名	2名
2	令和2年12月4日	出前講座(医療センター)	性教育(小中)	1名	17名	4名
3	令和2年12月25日	出前講座(医療センター)	性教育	1名	10名	1名
4	令和3年3月27日	日本EPI協会	お金の使い方講座	4名	18名	7名

令和 2 年 度 法 人 本 部 事 業 報 告 書

1. 理事会開催状況

第 1 回 令和 2 年 6 月 5 日

決議事項 平成 31 年度事業報告並びに計算書類等の承認、平成 31 年度監事監査報告、定時評議員会の招集
太陽の里いわき給与規程一部改正、ひまわり荘受水槽新設工事、資金収支補正予算（案）承認

出席状況 理事 7 名 監事 2 名

第 2 回 令和 2 年 6 月 22 日

決議事項 ひまわり荘受水槽新設工事契約締結

出席状況 理事 7 名 監事 2 名

第 3 回 令和 2 年 9 月 30 日

決議事項 理事長職務執行状況報告、監事による収支状況報告、二ツ箭荘運営規程の改正、資金収支補正予算（案）

出席状況 理事 5 名 監事 2 名

第 4 回 令和 3 年 1 月 29 日

決議事項 理事長職務執行状況報告、監事監査報告、資金収支補正予算（案）、令和 2 年度地域介護・福祉空間整備等交付申請書

出席状況 理事 7 名 監事 2 名

第 5 回 令和 3 年 3 月 29 日

決議事項 令和 2 年度資金収支補正予算（案）承認、令和 3 年度事業計画及び資金収支予算（案）承認、五カ年計画（案）、
いわき育英舎就業規則の改正、いわき育英舎事故報告、二ツ箭荘運営規程の改正及び訪問リハビリテーションの開始並びに
運営規程の新設について

出席状況 理事 7 名 監事 2 名

2. 評議員会開催状況

第 1 回 令和 2 年 6 月 22 日

報告事項 平成 31 年度事業報告

決議事項 平成 31 年度計算書類及び財産目録の承認、平成 31 年度監事監査報告

出席状況 評議員 10 名 理事 3 名 監事 2 名

令和2年度 医療センター片寄診療所事業報告書

片寄診療所は、医師法、医療法及び介護保険法のもとで、業務内容の充実に努めて、ひまわり荘・日之出荘の協力医療機関としての連携を図って参りました。

医科・歯科及び通所リハビリセンターにおいては利用者の確保と継続利用者が減少してしまいました。来年度は、利用者獲得と利用率向上のため援助サービス内容の改善と質の向上に取り組んで参りたいと思っております。

1. ひまわり荘・日之出荘入居者の健康管理

ひまわり荘におきましては、週1回の非常勤医師による定期往診により健康管理に努めました。又、休日に発熱や体調を崩した際には、指示を仰ぎ対応してまいりました。

日之出荘の入居者が安心して生活できるように、かかりつけ医として医療を提供して参りました。

入居者、家族の方が疾病において不安のないように説明を行い、治療を行って参りました。

診療所にて対応が取れない病状の場合には、他の医療機関へ搬送がスムーズに進むように努めて参りました。

入居者の結核検診、職員の健康診断、利用者・施設職員へのインフルエンザワクチン接種などの実施により健康管理をして参りました。

2. 通所リハビリテーション

新規利用者獲得の為、居宅介護支援事業所へ定期的にFAXや電話等で空き情報の連絡を実施、また、7月、9月、10月、11月、12月には居宅介護支援事業所事業所へ訪問し、事業所説明、パンフレットの配布を行いました。居宅訪問後は問い合わせ件数も増えました。

6月頃までは、新型コロナウイルス感染予防のため、長期休所の利用者がいました。利用者に安心してご利用して頂けるよう、送迎時、乗車前には検温し体調の確認、定期的な換気、手指の消毒、テーブル、イス、歩行器、手すり等の消毒の実施、空気清浄機、加湿器を設置しました。また、他県の方と接触があった場合には、御家族やケアマネージャーと情報共有し体調確認を行ったうえご利用頂く等、新型コロナウイルスの感染予防に努めました。

運動の充実に図り身体機能の維持、向上に努めました。上肢、下肢、脳トレを意識した内容でレクリエーションを実施し、楽しくゲームを行いながら、心身機能の維持向上が出来るよう努めました。

壁画作成のほか、花や制作物を通して季節感を感じられるように努めました。制作等の活動の様子はフェイスブックに載せ、利用者、ご家族、ケアマネージャーとのコミュニケーションに活用しました。

利用者の状況変化等は、ご家族、ケアマネージャーへ連絡し、情報共有しながら利用者一人ひとりのニーズにあった支援を行いました。

介護業務内容の見直し、介護ソフトを活用し情報統一し共有が図れるような環境づくりに努めました。

3. 一般外来患者の確保

地域の医療の担い手となれるように送迎を行い、より多くの方々に診察して頂けるようにしました。

4. 検査部門の充実

血液検査、レントゲン、超音波断層検査機器（CTスキャン）などの活用により、疾患の早期発見につながり患者の健康管理に役立てるよう努めて参りました。

5. 新型コロナウイルスの感染防止

診察室、待合室に空気清浄機、加湿器、手指消毒器を設置、又、椅子等の消毒を行い感染予防に努めました。

令和2年度 片寄診療所利用状況

	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計	前年度	差
診療															
医科	399	363	420	388	365	383	354	339	400	316	349	403	4,479	5,000	△ 521
歯科	24	22	37	37	33	51	39	32	39	36	32	34	416	354	62
計	423	385	457	425	398	434	393	371	439	352	381	437	4,895	5,354	△ 459
デイケア															
支援1	9	3	10	8	7	8	4	7	8	6	4	5	79	164	△ 85
支援2	49	45	53	52	35	33	35	28	43	43	40	55	511	553	△ 42
要介護1	190	176	212	212	186	215	228	214	255	228	213	273	2,602	2,359	243
要介護2	266	225	285	267	233	238	264	193	228	203	195	231	2,828	3,841	△1,013
要介護3	182	166	210	188	148	187	208	196	227	190	193	244	2,339	1,692	647
要介護4	27	18	23	24	15	33	58	55	58	56	67	73	507	480	27
要介護5	13	10	14	11	13	8	13	6	9	6	11	12	126	110	16
計	736	643	807	762	637	722	810	699	828	732	723	893	8,992	9,199	△ 207
合計	1,159	1,028	1,264	1,187	1,035	1,156	1,203	1,070	1,267	1,084	1,104	1,330	13,887	14,553	△ 666
平均数(注1)	35.0	35.7	36.7	36.6	35.0	36.3	36.8	36.8	39.4	40.1	40.3	38.8	37.2	39.6	
利用率(%)(注2)	70.1%	71.4%	73.4%	73.1%	70.0%	72.5%	73.6%	73.6%	78.9%	80.2%	80.6%	77.7%	74.6%	79.1%	
特養(注3)	150	120	148	129	153	114	111	120	148	103	107	146	1,549	1,936	△ 387
ケア(注4)	105	98	103	100	92	114	116	103	106	107	118	123	1,285	1,213	72

注1：デイケアの一日当たり利用者数。 注2：デイケアの利用率。 注3：特養入所者の診療所利用数。 注4：ケアハウス入所者の診療所利用数

令和2年度 片寄診療所通所リハ行事実績

実施日	行事名	内 容	場 所
04月13日～17日	誕生会	4月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
05月18日～22日	誕生会	5月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
06月15日～19日	誕生会	6月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
07月13日～17日	誕生会	7月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
08月17日～21日	誕生会	8月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
09月14日～18日	誕生会	9月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
09月28日～10月2日	敬老会（運動会）	チーム対抗で運動会実施	大ホール
10月12日～16日	誕生会	10月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
11月16日～20日	誕生会	11月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
12月07日～11日	誕生会	12月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
12月21日～25日	クリスマス会	職員余興、合唱、抽選会等を実施	大ホール
01月18日～22日	誕生会	1月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
02月01日～02月05日	節分レク	豆まきゲーム（鬼姿の的に玉を投げ入れるゲーム）	大ホール
02月15日～02月19日	誕生会	2月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール
02月15日～02月19日	ひな人形作り	折紙にてお内裏様、お雛様作成	大ホール
03月15日～03月19日	誕生会	3月誕生者のお祝いを実施（誕生日プレゼント、記念写真撮影）	大ホール

令和2年度 片寄診療所研修実績

外部研修

なし

内部研修

日 程	時 間	参加人数	内 容
11月27日	17:00~18:00	11名	介護における安全確保とリスクマネジメント 講師：橋本 好博 様（福島県介護福祉士会）